

神奈川県立あおば支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和5年度 神奈川県立あおば支援学校第4回学校運営協議会		
開催日時	令和5年12月14日(木) 午前10時30分～午前11時30分		
開催場所	会議室		
出席者	委員：10名 事務局：7名		
次回開催予定日	令和6年3月7日(木) 午前9時30分～午前11時30分		
問い合わせ先	神奈川県立あおば支援学校 副校長 佐藤 浩栄 電話番号 045-978-1161 ファックス番号 045-978-1160		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>(1) 学校長挨拶</p> <p>(2) 各部会の協議内容報告</p> <p><切れ目ない支援部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定着支援と意思決定支援について協議 ・移行支援チームリーダーより本校の考え方を紹介。課題として、卒後のアフターフォローとして緊急時の支援やジョブコーチとの連携についての例が挙げられた。 ・計画相談については、6割程の利用に留まっている。社会への一歩として大切だが事業所の不足という問題を抱えている。また相談員との関係性などもある。本人の意思決定の大切さが重要。 ・意思決定は、様々な人との関わりや繋がり、地域の中でのいろいろな経験などが大切。 <p><地域連携部会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災連携について協議 ・学校での取り組みとして、職員研修や防災拠点との連携、いっとき避難所としてできること、などについて話された。 ・拠点との連携については、2月に防災訓練があるので、その時に学校のブースを出して知ってもらえるかどうか、という意見が出た。 ・中学校が拠点としてできることとして、中学校生徒の手助けやSOSの出し方などの話題が出た。 		

- ・備蓄食料はあるが、毛布などの物資が心もとない。
- ・防災計画に、防火扉閉鎖の確認と排煙口の確認を入れると良い、という話も出た。

<地域学校協働部会>

- ・オリオリ教室について協議
- ・くろがね倶楽部撤退後の存続について、組織体を作っていく必要がある。
- ・費用についても今は県の事業として行われているが、それがなくなった後はどのように運営していけるか。
- ・地域や保護者で担えるのか、また持続可能な形は、ということについて意見交換。
- ・学校の負担を減らすこと、皆で作る活動にしていくことが大切。

(3) 報告内容について全体協議

A 委員) 校長の話より、あおばフェスタについて。卒業生が母校に來られるようになったこと、演目のすばらしさ、先生達の工夫のすごさを感じた。こうした障害児に触れる機会は大学では用意できないプログラム。学生と共に参加できて良かった。

B 委員) 切れ目ない支援部会での、アフターフォローの課題については、在校生と卒業生双方へ支援が必要で、その土台作りが大変だと思った。

C 委員) 学校の課題が明確になっていく学校運営協議会の良さを感じた。

D 委員) 地域の学校として何ができると考えた時に、生徒や教員に自分事として考えてもらう機会ができるとよいと思った。

E 委員) いろいろと学校とのつながりが広がっていることを感じた。

F 委員) 卒業生が外に出ていくためにはいろいろな支援が必要だと感じた。保護者も子どもと共に成長していきたい。

(4) まとめ 校長

・学校への協力に感謝。話し合われたことを持って新しくまた進めていけるとよい。

	<p>(5) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none">・本日、これから学校運営協議会を立ち上げていく逗子市の方3名が視察として参加。・1月24日公開授業について・コミュニティ・スクール説明会の案内 <p>(6) 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">・変更や決定を伝える際には、学校運営協議会で出た結論だということを根拠にしていけるといい。
--	---